

第4号議案

平成22年度事業計画（案）及び
平成22年度収支予算（案）について

ITコンソーシアム京都 平成22年度事業計画(案)

設立から5年目を迎えた本年度においては、産学公の広範囲な連携によるオール京都でのIT利活用の推進を目指し、府内のIT関連団体の中核としての取組や、会員にメリットのある取組をこれまで以上に意識するなど、新たな会長をトップとした新体制のもと、活動の更なる活発化を図る。

その第一歩として、調査研究活動において、新たに「観光情報基盤検討部会」を立ち上げ、観光分野における府内の様々なIT活用プロジェクトの成果・ノウハウを京都全体で共有し、効果的に活用することができる基盤の検討を進めるほか、「地上デジタル放送活用部会」を「クロスメディア部会」に名称変更し、様々なコンテンツを題材としたクロスメディアの取り組みを進め、各団体との情報共有・連携や京都全体での活用を模索するとともに、これまでの「ネットワーク部会」、「医療情報化部会」、「情報セキュリティ部会」を含めた5つの部会を柱として具体的なプロジェクトに取組んでいく。

普及啓発関係では、今年度も「第10回ケータイ国際フォーラム」や「KYOTO CMEX」、「京都ユビキタスミュージアム推進機構」等との連携による啓発イベントを開催するとともに、IT利活用推進や情報セキュリティに関する府民向け、会員向けの啓発事業を行う。また、継続してホームページによる情報発信や電子メールによる会員向け情報提供を行う。

主な事業計画は次のとおりである。

1 普及啓発活動

(1) 情報提供

- ・ ITコンソーシアム京都ホームページによる情報発信
- ・ メールマガジン「ITコンソーシアム京都ニュースレター」の送信により、事務局からの情報提供に加え、会員からの情報提供、各種研究会・講演会の案内、府内のIT関連情報など、タイムリーな情報を会員向けに提供

(2) 会員向けセミナー

- ・ 財団法人京都高度技術研究所と連携し、クラウドコンピューティングに関する普及啓発セミナーを開催(7月予定)
- ・ その他、IT先進地の視察見学会や、情報セキュリティに関するセミナー等、会員向けの各種セミナーを実施
- ・ 「京都ユビキタスミュージアム推進機構」と連携した研究会等を開催

(3) 府民向けセミナー

- ・ 「第10回ケータイ国際フォーラム」や「京都ユビキタスミュージアム推進機構」、「Kyoto CMEX」と連携した啓発イベント
- ・ その他、府民向けに情報セキュリティやIT利活用を啓発するセミナーを開催

(4) 共催・後援・協賛事業

- ・ 第10回ケータイ国際フォーラムの推進(実行委員会への参画、連携イベントの開催)
- ・ 「情報教育研究集会」(12月)への協力
- ・ その他、府内でのIT関係の各種イベント等に対し、共催、後援により参画し、府域での普及啓発を他団体と連携して推進

(5) 会員の拡充活動

- ・ 部会活動の展開等に併せて会員の拡充活動を実施。

2 調査研究活動（部会活動）

（１）観光情報基盤検討部会

観光分野における府内の様々なIT活用プロジェクトのノウハウやコンテンツ、ソフトウェアなどの成果を蓄積し受け継ぐことにより、京都全体で共有し効果的に活用していくことのできる観光情報基盤の構築について、財団法人京都高度技術研究所等との共同推進により、観光に関わる様々な業界に意見を求めながら調査検討をはじめ。

（２）ネットワーク部会

情報通信インフラの利活用推進として、今年度から新たに運用が開始された京都府の新・京都デジタル疎水ネットワークについて、会員への情報提供や利活用事例の紹介等、会員間・利用者間の情報交流等を行う機会を設ける。

また、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会エネルギーの情報化WGなどの関係団体と連携した「グリーンIT」に関する研究・啓発活動を継続し、けいはんな学研都市で実施される予定のスマートグリッド実証実験に関する情報提供等を行う。

（３）医療情報化部会

京都府民向けPHR（Personal Health Record）システムの実現を目指し、特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター等が運営する個人向け健康情報管理サービス「ポケットカルテ」について、昨年度の実績を踏まえ、医療機関や薬局、コンビニ等も含め継続的に普及を図る。

また、これまで当部会で取り組んできた共通診察券発行プロジェクトと連携し、共通診察券の発行をキーとして、住民自らが医療履歴等を管理し複数の病院に提供することができるサービスや、MRIやNICU、手術室等の医療リソースを集中管理し有効に活用するシステムにより、開業医と総合病院間など地域医療機関の有機的な連携を図るプロジェクトを進める。

さらに、医療分野への次世代高速無線通信の活用、医療・医薬品へのICタグ活用等、医療分野におけるITの利活用について、これまでの成果等を踏まえた医療機関への実装や医療安全への貢献等について引き続き検討していく。

（４）クロスメディア部会

スポットワンセグ放送など、地上デジタル放送活用部会の成果を引き継ぎながら、さらに一步踏み込んだ形の取り組みとして、一つのコンテンツを、様々な複数のメディアを融合させた形で配信するクロスメディアの取り組みを進める。

具体的には、複数のメディアをうまく組み合わせ、各メディアに適した形でバーチャルコンテンツを配信し、状況に応じて適切にメディア選択することにより効果的に理解を深める立命館大学の「ハイブリッド仮想空間」プロジェクトを中心に、観光・イベントや伝統文化、若者のニューファッションなどの分野をフィールドとして具体的な取り組みを検討するほか、様々なバーチャルコンテンツを配信する各企業・団体のプロジェクトとの情報共有・連携や、将来的には会員企業や大学等の技術を組み合わせた新たな機能・コンテンツの追加など、京都全体での活用を模索する。

（５）情報セキュリティ部会

一般府民向けに情報セキュリティの基礎知識を啓発する「インターネット安全教室」とあわせて、青少年向けに携帯電話の安全な利用を啓発するセミナーや、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）及び京都商工会議所等と連携した企業向けの「情報セキュリティセミナー」等、府民向け、会員向けの情報セキュリティ啓発事業を開催する。

また、情報セキュリティを巡る新たなトピックに関する研究会を開催するほか、中小企業や教育機関、自治体等の各種団体に対する情報セキュリティ対策の支援について、引き続き具体的な支援策を検討していく。

ITコンソーシアム京都 平成22年度収支予算(案)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
収入の部				
1 会費収入	(3,550,000)	(3,690,000)	(140,000)	【会費収入内訳】 ・ 普通会員 (20,000) × 115 2,300,000 ・ 府 (500千円)、市 (500千円)、京商150千円、 ASTEM (100千円) 1,250,000
会費収入	3,550,000	3,690,000	140,000	
2 雑収入	(898)	(7,864)	(6,966)	
雑収入	898	7,864	6,966	預金利子
3 その他	(0)	(0)	(0)	
その他	0	0	0	
当期収入合計	3,550,898	3,697,864	146,966	
前期繰越収支差額	4,729,102	4,062,136	666,966	
収入合計	8,280,000	7,760,000	520,000	
支出の部				
1 事業費	(3,300,000)	(2,800,000)	(500,000)	
調査研究費	2,700,000	2,200,000	500,000	部会活動経費
総会費	500,000	500,000	0	総会
会議費	100,000	100,000	0	委員会、事務局会議
2 普及・啓発費	(3,900,000)	(3,900,000)	(0)	
講演会費	2,700,000	2,700,000	0	府民向けの各種セミナー、ケータイ国際フォーラムやKyoto CMEX、京都ユビキタスミュージアム推進機構等との連携イベント
会員セミナー費	1,000,000	500,000	500,000	クラウドコンピューティングに関する普及啓発セミナーなど年4回程度
HP作成運用費	200,000	200,000	0	サーバホスティング経費
協賛事業	0	500,000	500,000	
3 事務費	(700,000)	(700,000)	(0)	
事務費	700,000	700,000	0	消耗品費 / 通信費 / 交通費 / 手数料等
4 予備費	(380,000)	(360,000)	(20,000)	
予備費	380,000	360,000	20,000	
当期支出合計	8,280,000	7,760,000	520,000	
当期収支差額	4,729,102	4,062,136	666,966	
次期繰越収支差額	0	0	0	